

満天の星

第31号

蒲刈中学校PTA新聞

令和4年6月10日

発行・編集

PTA教養育成部会

入学おめでとうございます

4月7日(木)第20回蒲刈中学校入学式がとりおこなわれました。今年度は9名の生徒が入学しました。

少し緊張した様子で、希望と期待を胸に新しい学校生活がスタートしたことと思います。



『蒲刈中学校校長挨拶』

呉市立蒲刈中学校校長 柿林 浩彦

保護者の皆様におかれましては、平素より本校教育にご理解と多大なるご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。蒲刈中学校長 柿林 浩彦です。よろしくお願いいたします。

さて、4月7日の入学式では9名の新入生を迎え、本年度は2年生11名、3年生9名の計29名の生徒の皆さんと一緒に令和4年度をスタートしております。

今年度も「未来を拓く生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、生徒の皆さんが変化の激しい社会を逞しく生きていくために必要な力(資質・能力)を身に付けさせるよう、教育活動の推進に邁進する所存です。昨年度は、GIGAスクール構想が前倒しとなり、生徒1人1台のタブレット端末の貸与・活用と、校内の高速大容量の通信環境の整備も進みました。そのため、本校の強みである「少人数だからできる教育・蒲刈だからできる教育の創造」、つまり、生徒一人一人に多くの先生が丁寧に指導したり、親身になって声をかけたりしながら指導・支援できることに加えて、授業はもちろん家庭学習などにおいてもタブレット端末の活用を推進してまいりました。

タブレット端末の活用などICT教育の推進も大切ですが、根底にある重要なことは先生と生徒の皆さん、保護者の皆様との良好な人間関係です。今までも先生は常に生徒の心に常に寄り添いながら、一緒になって考えたり、悩んだりしています。先生は生徒にとって身近な大人であり、これから生きていく上での手本にもなります。そのことを肝に銘じて、私たち教職員は日々成長できるよう努力してまいります。

これからも新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、ウイズコロナ(コロナと共存)の時代が続くと考えられます。校内では可能な限りの感染症防止対策を講じた「学校の新しい生活様式」を取り入れてまいります。安心・安全な学校環境があってこそ、日々の教育活動を行うことができますので、これからも本校の教育活動にご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

『蒲刈中学校PTA会長挨拶』

呉市立蒲刈中学校PTA会長 竹内 清志

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。気持ちを新たに中学校生活をスタートしましょう。

中学校生活は3年間です。この3年間で自分を成長させましょう。私からどうしたら成長することができるか一つアドバイスしたいと思います。それは、『計画を立てる』ということです。中学校の生活は、小学校と比べると勉強、部活と忙しいです。やるべきことが多いので、時間が足りないと感じることがあると思います。ですから、先を見越して計画を立てると良いでしょう。

例えば、「何時から漢字の課題を始めよう。」とか、「10時に寝るためには、何時から数学の課題を始めないと。」という具合に、今日やるべきことを全部書き出して、自分で計画を立てます。それを実行するのです。計画を立てずにダラダラ始めると、時間がかかるうえに集中力が切れ頭に入らないことがあります。

計画的にスムーズにできれば、自由時間が確保できるでしょう。早速、計画的に生活してみましょう。3年間は短いものです。しかし、この3年間で充実させることができれば、皆さんは確実に成長します。昨日の自分より、今日の自分を少しでも成長させましょう。応援しています。

また、保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。今から蒲刈中学校の生徒となり、新生活が始まります。お子様にとりまして、蒲刈中学校での生活が充実したものとなりますよう、心から願っております。